

MANDARA JSの基本操作①

**MANDARA JSを立ち上げて
白地図を描いてみる**

地図の錬成会 MANDARA JS特練

①検索サイトでMANDARA JSを開きます



MANDARA JS

AI モード すべて 動画 画像 ショッピング ショート動画 地図 もっと見る ▾ ツー



KTGIS.net

https://ktgis.net › mdrjs

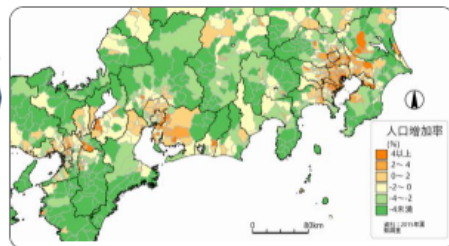
MANDARA JS|ブラウザ上で動作する地理情報分析支援 ... ✓

MANDARA JSは、Webブラウザ内で動作するプログラミング言語JavaScriptで作られています。
JavaScriptのJSです。 Internet Explorerでも使えますか ...

② 最初の状態から始める をクリックして初期画面を出します

Browser GIS
MANDARA JS

MANDARA JSは、Windows版GISのMANDARA10から派生した、Webブラウザ上で動作する新しいタイプの「ブラウザGIS」です



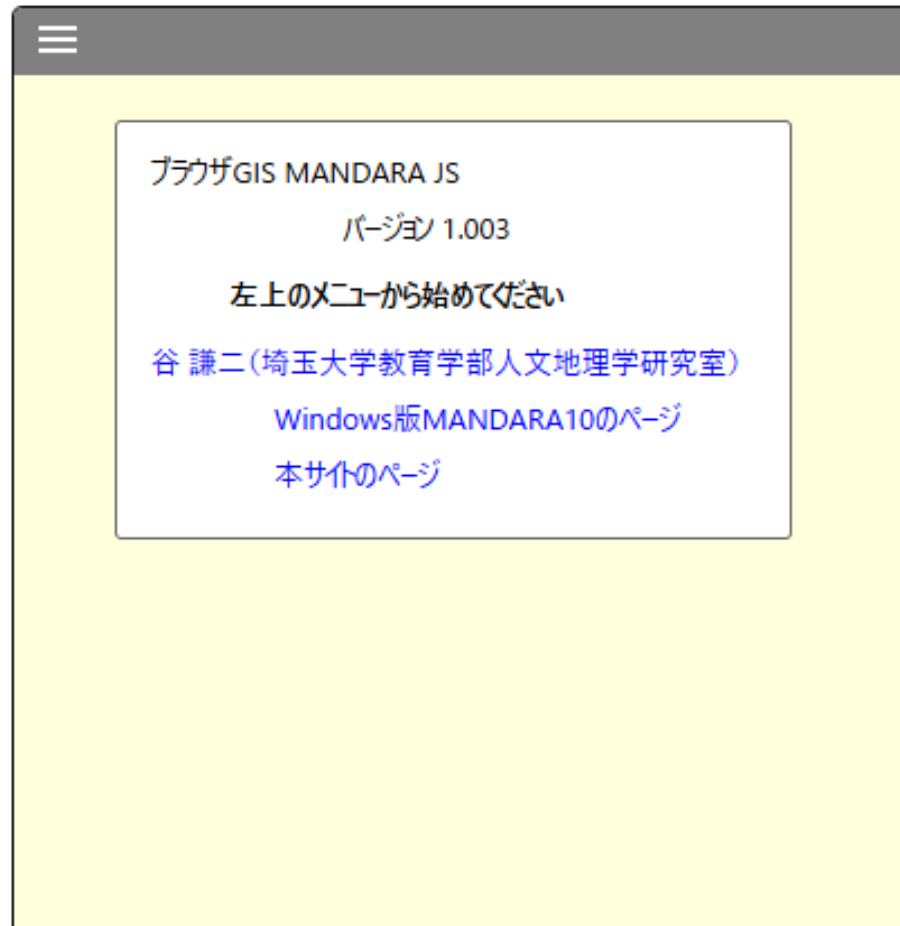
使ってみる

最初の状態からはじめる

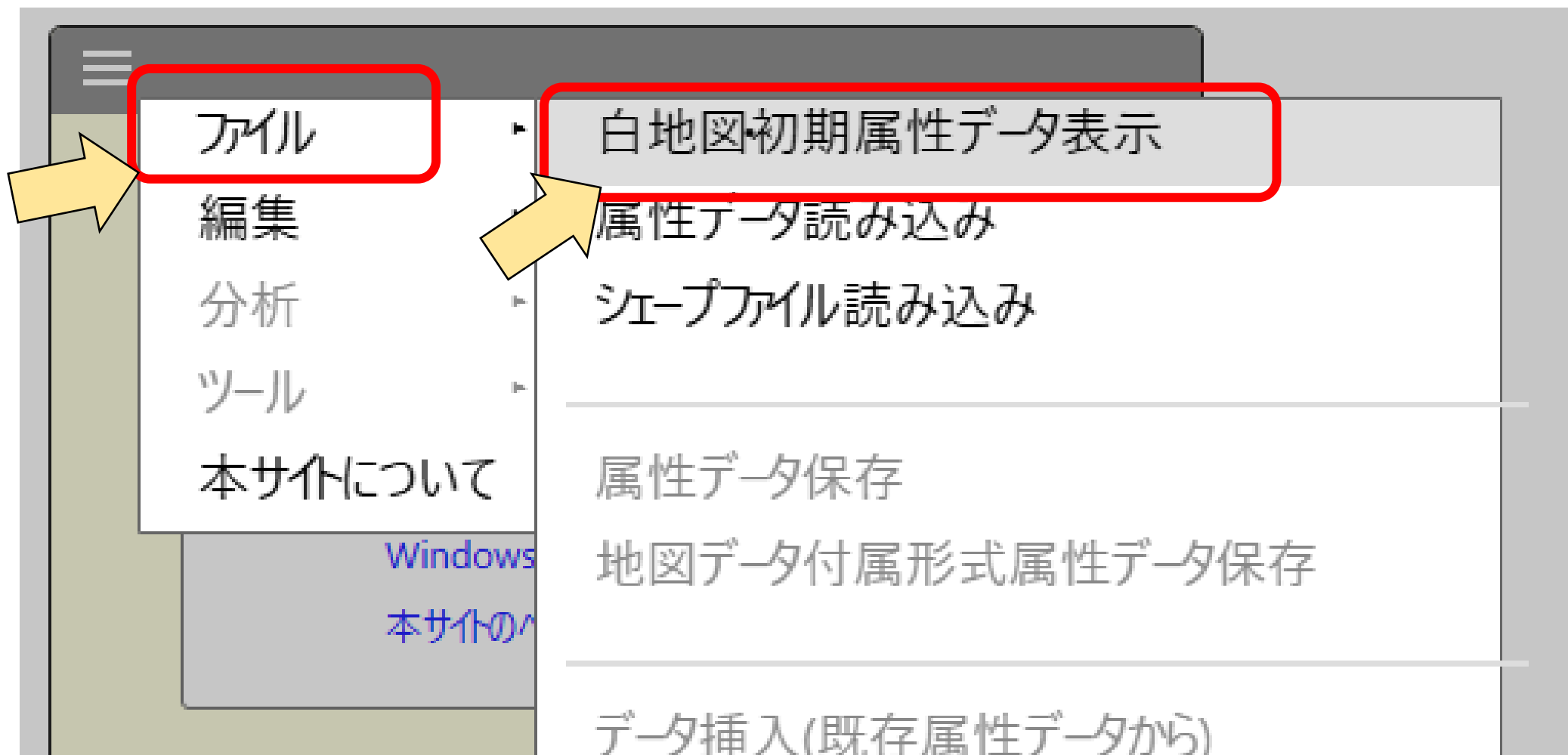
データつきで使ってみる

MANDARA JSをはじめて使う人は、データつきでいろいろ操作してみてください。「描画開始」ボタンで地図が表示されます。

- [日本の都道府県データ付き](#)



③ まずは、白地図を描いてみましょう



④「地図ファイルを追加」を選びます

白地図初期属性データ表示

地図ファイル
下に地図ファイル(MPF)をドロップしてください

地図ファイル追加 削除

レイヤ

レイヤごとの設定

レイヤ名

使用する地図ファイル

表示するオブジェクトグループ

時期設定

年 / 月 / 日

全選択 全解除

レイヤ追加 削除

OK Cancel

地図ファイル選択

MANDARA提供地図ファイル追加

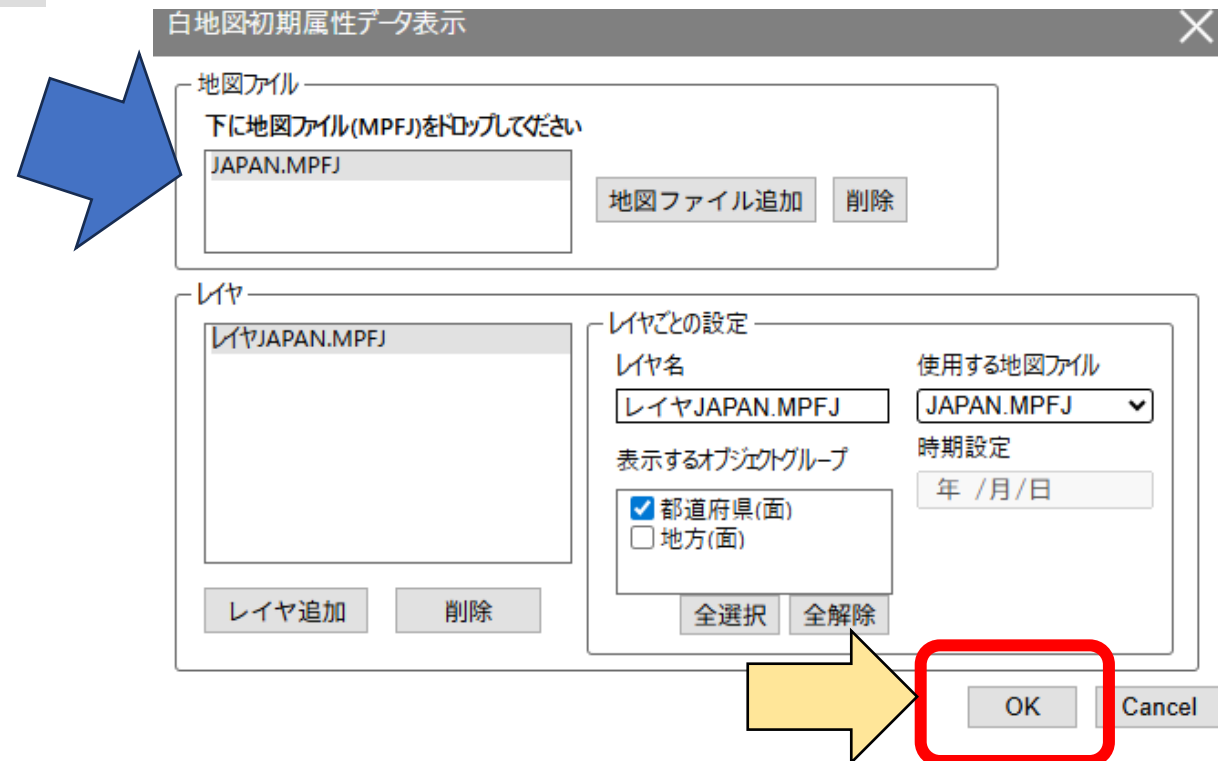
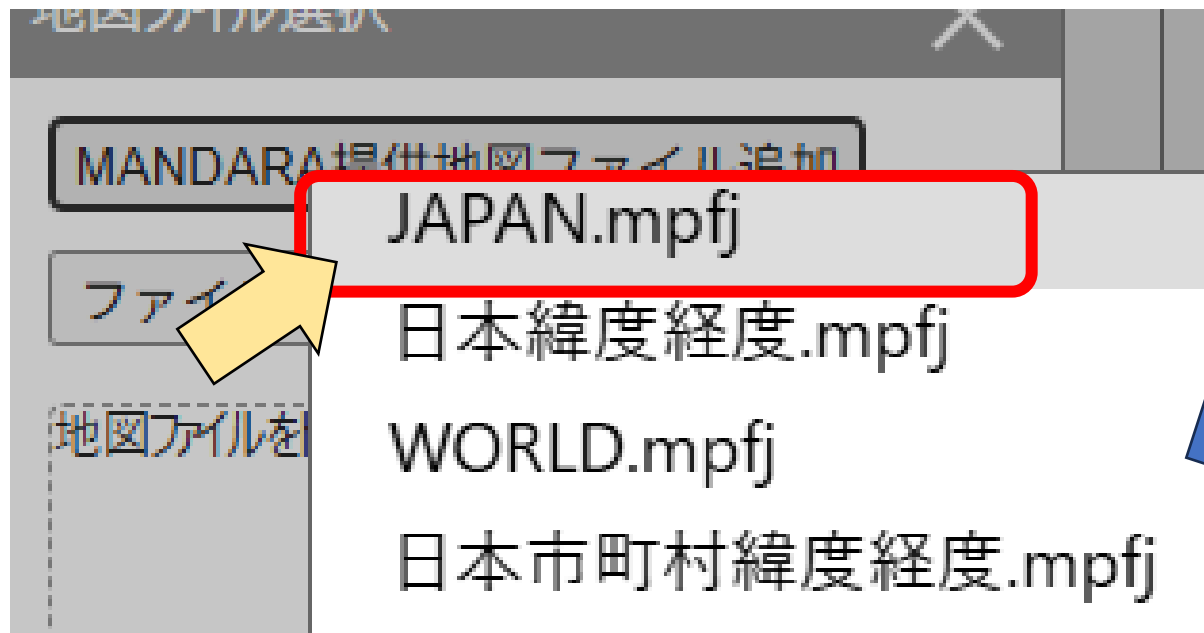
ファイルを選択 選択されていません

地図ファイル

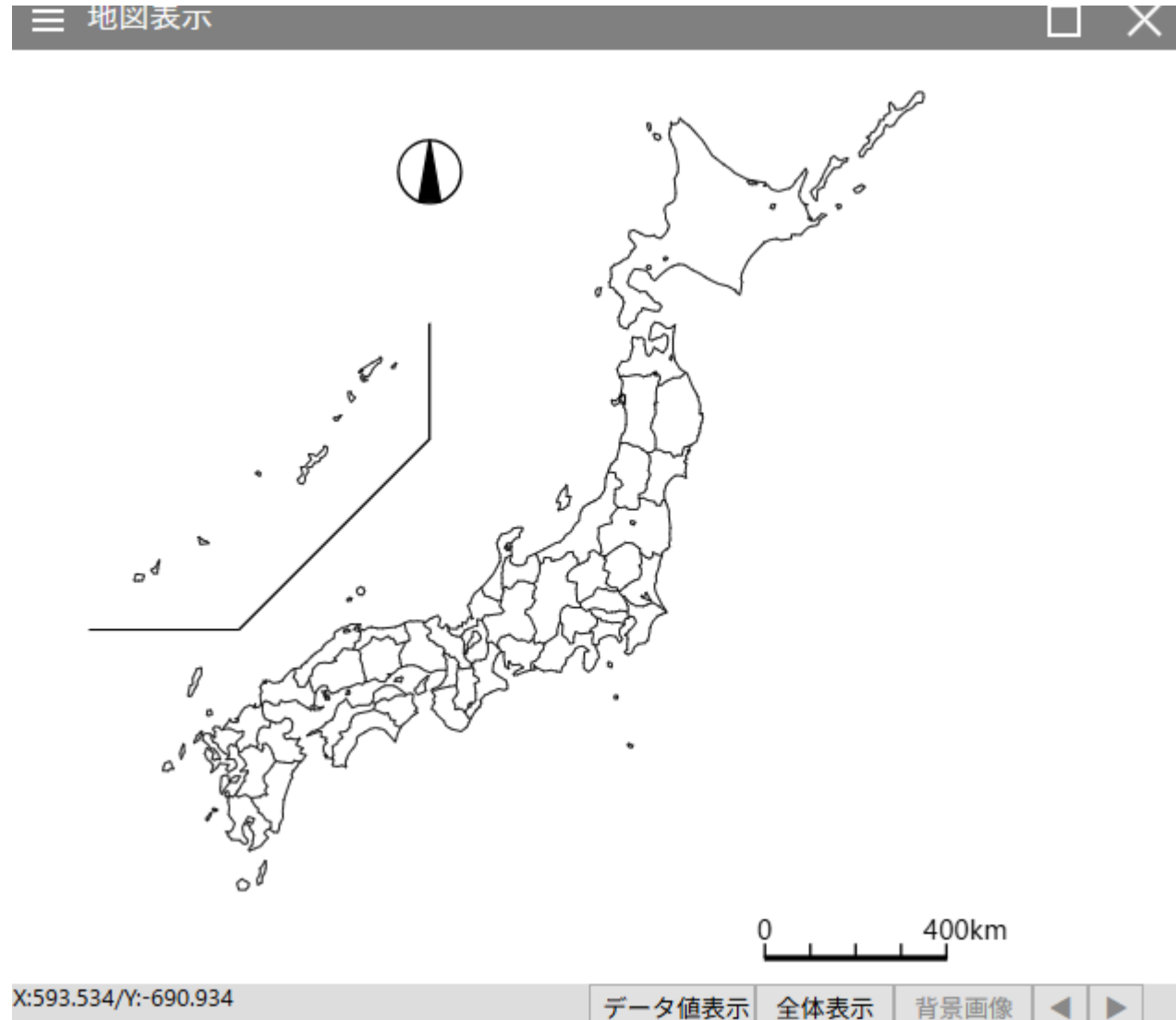
MANDARA提供
地図ファイル
を選びます

Cancel

⑤ 日本地図を出してみよう



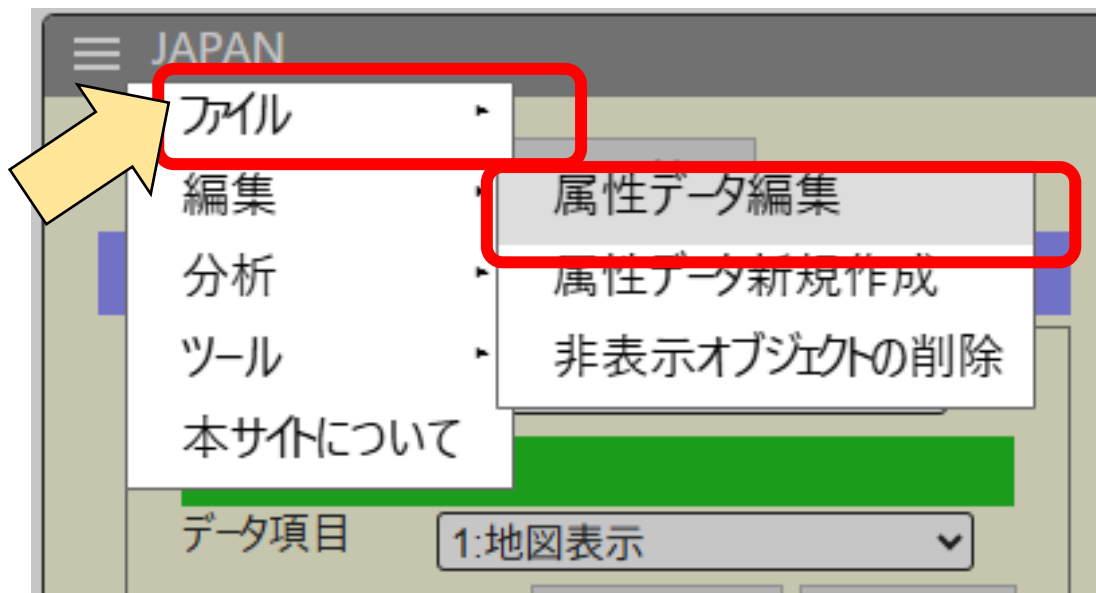
⑥「描画開始」ボタンをクリックすると 地図が出ます



⑦属性データを表示します

ファイル

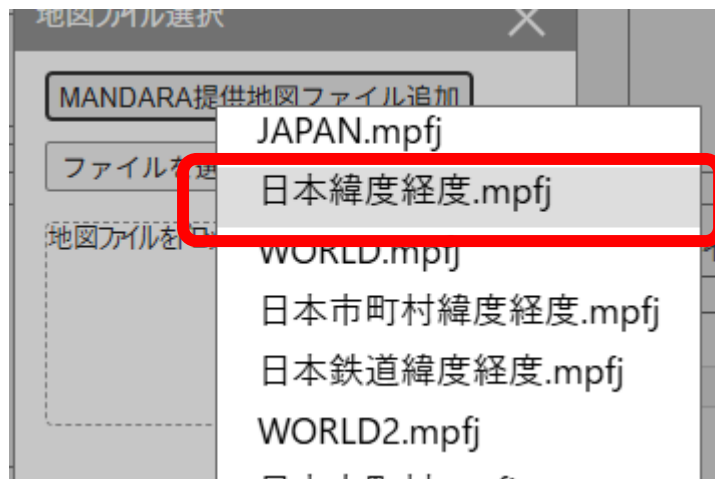
属性データ編集



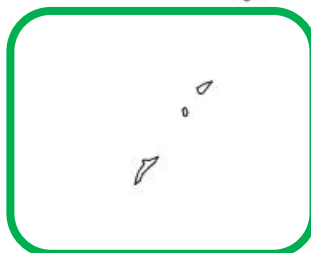
属性データ編集		
地図ファイル JAPAN.MPFJ	差し替え 削除 追加	検索 検索 前 次 初期属性追加 オブジェクト名 コピーパネル
OK Cancel		
レイヤJAPAN.MPFJ		
	1	
データの種類	カテゴリデータ	
空白セル	0または空白	
タイトル	地図表示	
単位	CAT	
注		
1	北海道	
2	青森県	
3	岩手県	
4	宮城県	
5	秋田県	
6	山形県	
7	福島県	
8	茨城県	
9	栃木県	
10	群馬県	
11	埼玉県	
12	千葉県	
13	東京都	
14	神奈川県	
15	新潟県	
16	富山県	
17	石川県	
18	福井県	
19	山梨県	
20	長野県	
21	岐阜県	

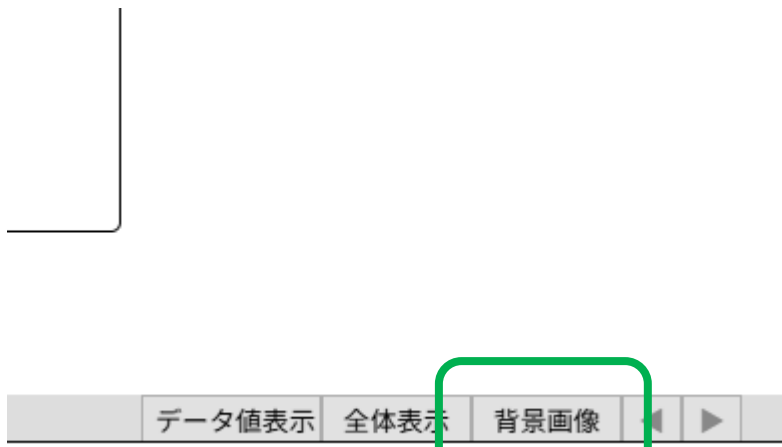
この順番のデータがあれば
地図が描けるわけです

【練習】 白地図を表示しましょう

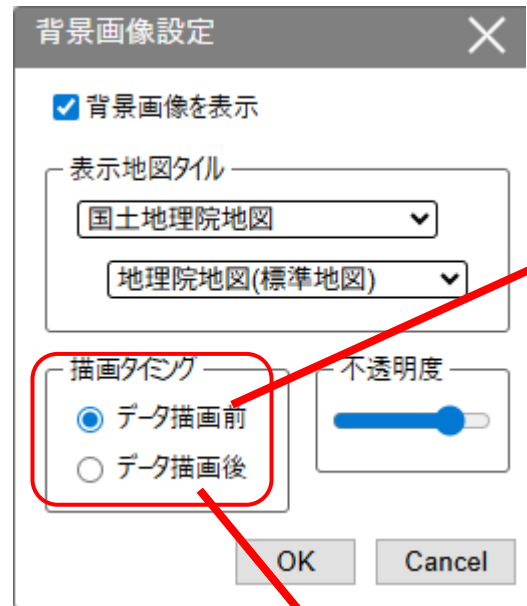


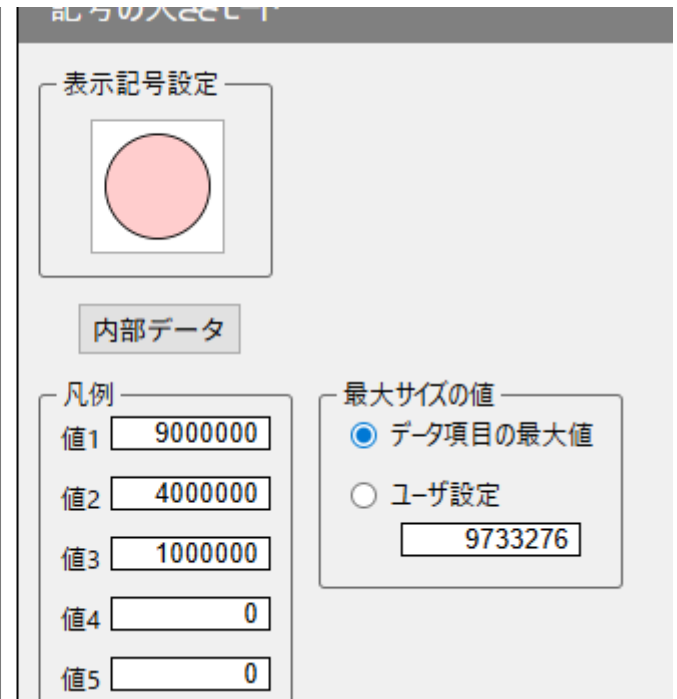
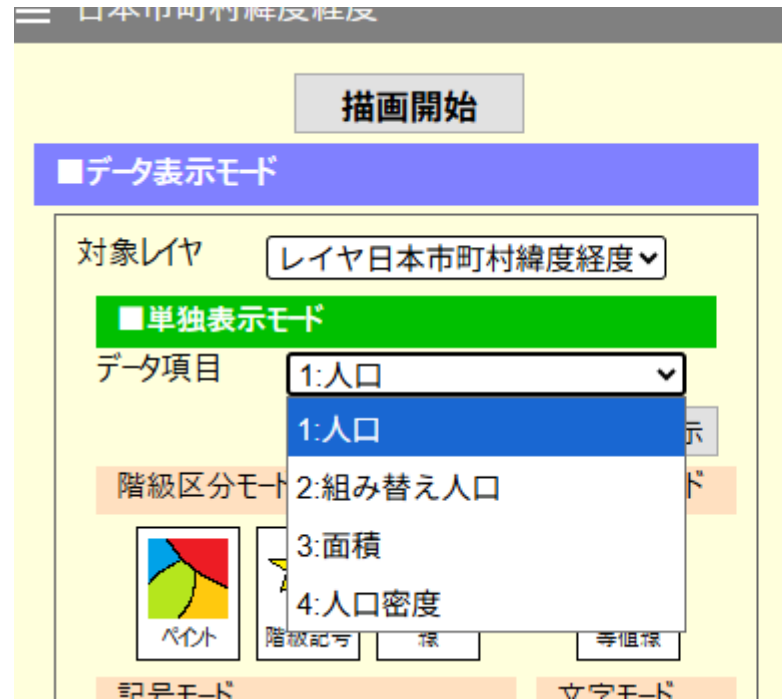
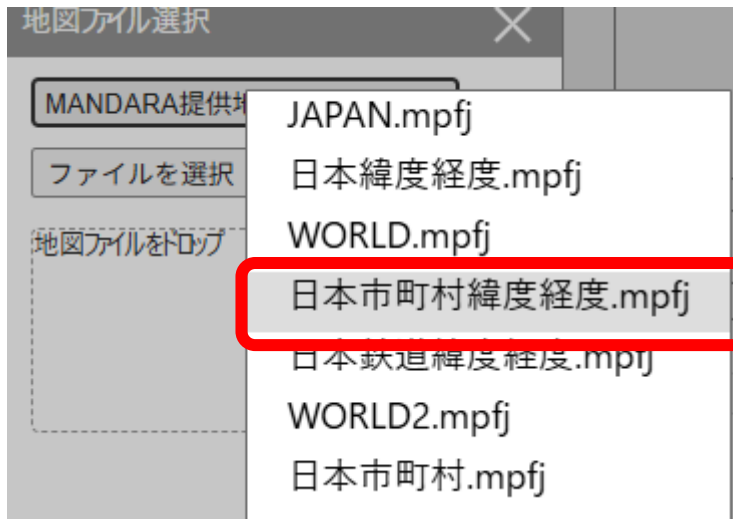
座標通りに
白地図が出ます





「背景画像」
機能が使えます



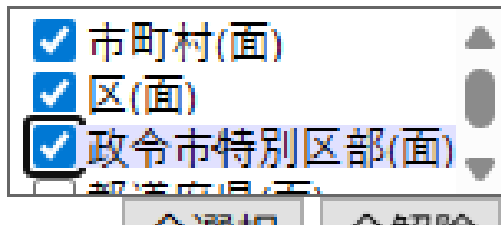


レイヤごとの設定

レイヤ名

レイヤ日本市町村緯度経

表示するオブジェクトグループ



表示選択に
注意してください

デフォルトの
データを表示
してみましょう

日本市町村緯度経度

描画開始

■データ表示モード

対象レイヤ レイヤ日本市町村緯度経度▼

■単独表示モード

データ項目 1:人口▼

データ値表示 統計値表示

階級区分モード 等値線モード

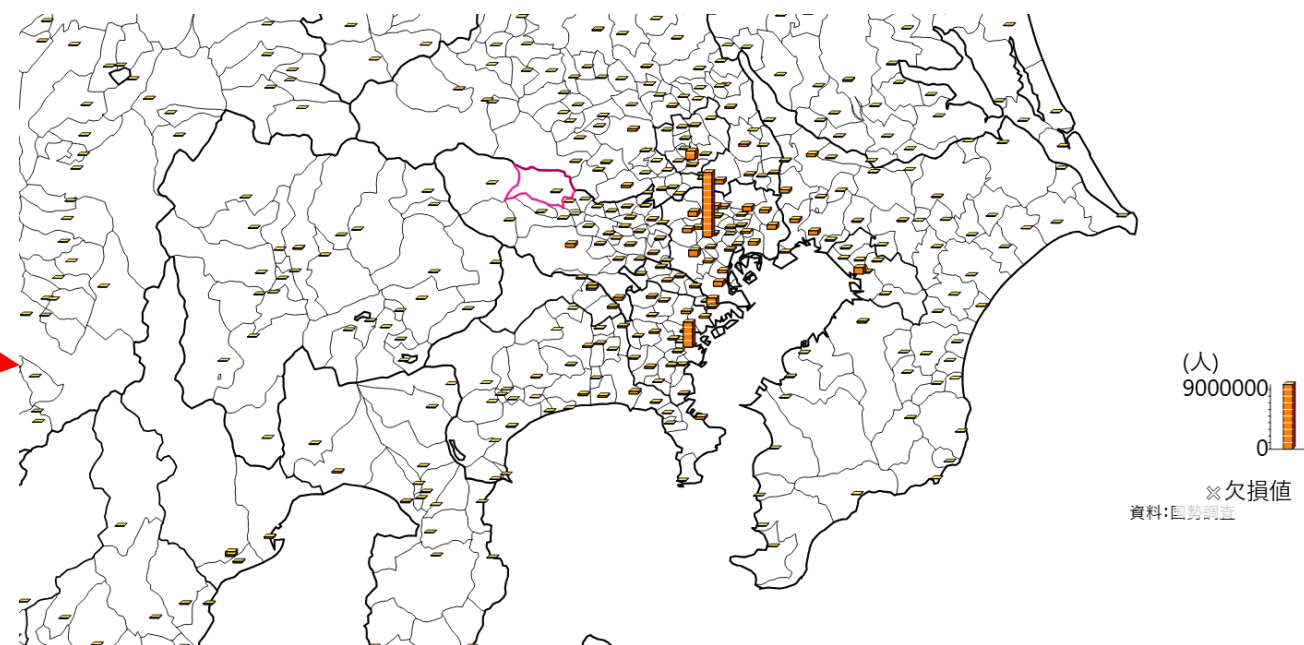
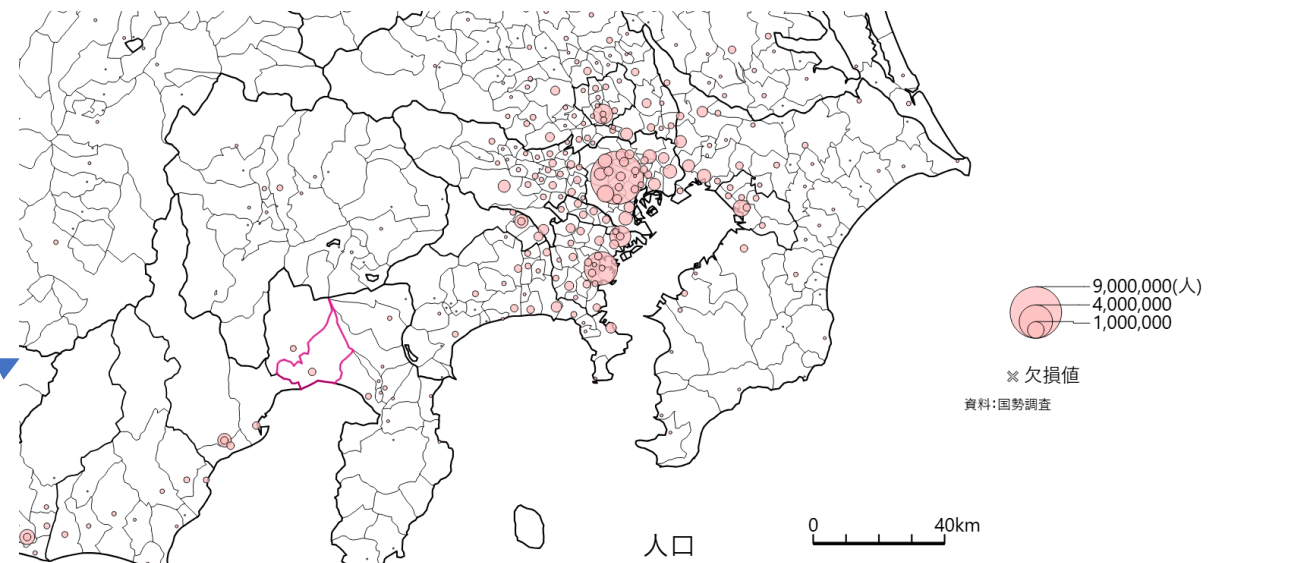
記号モード 文字モード

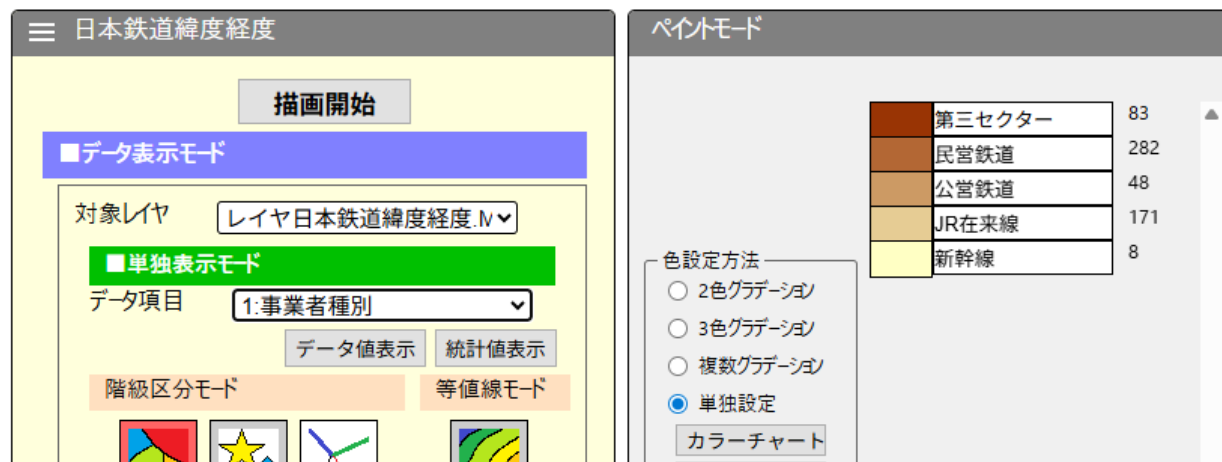
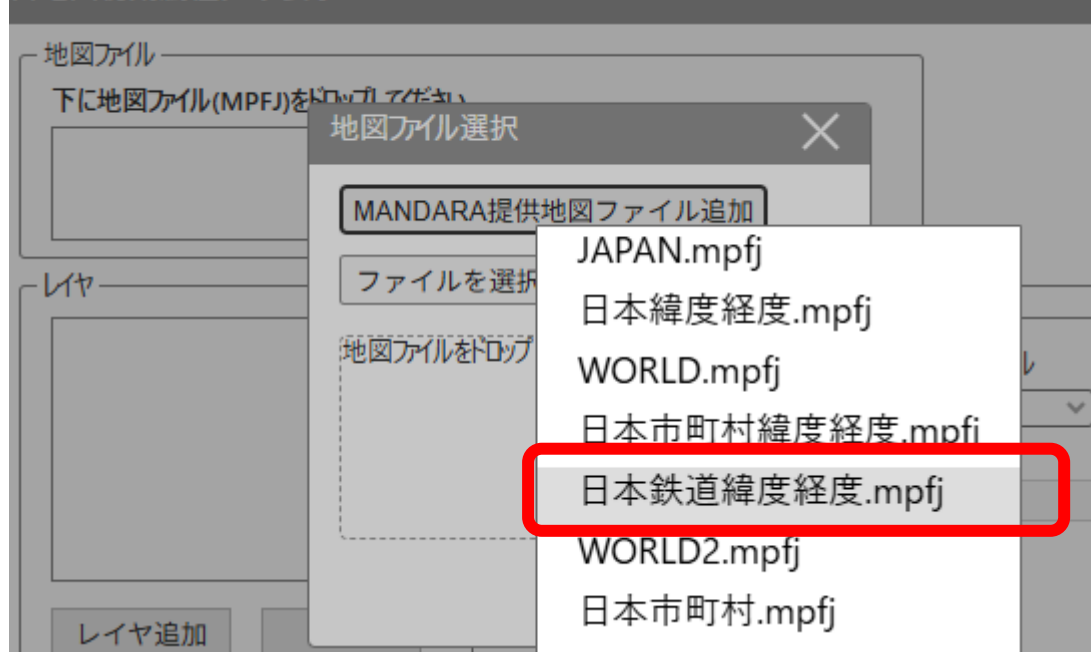
大記 数 棒の高さ 文字

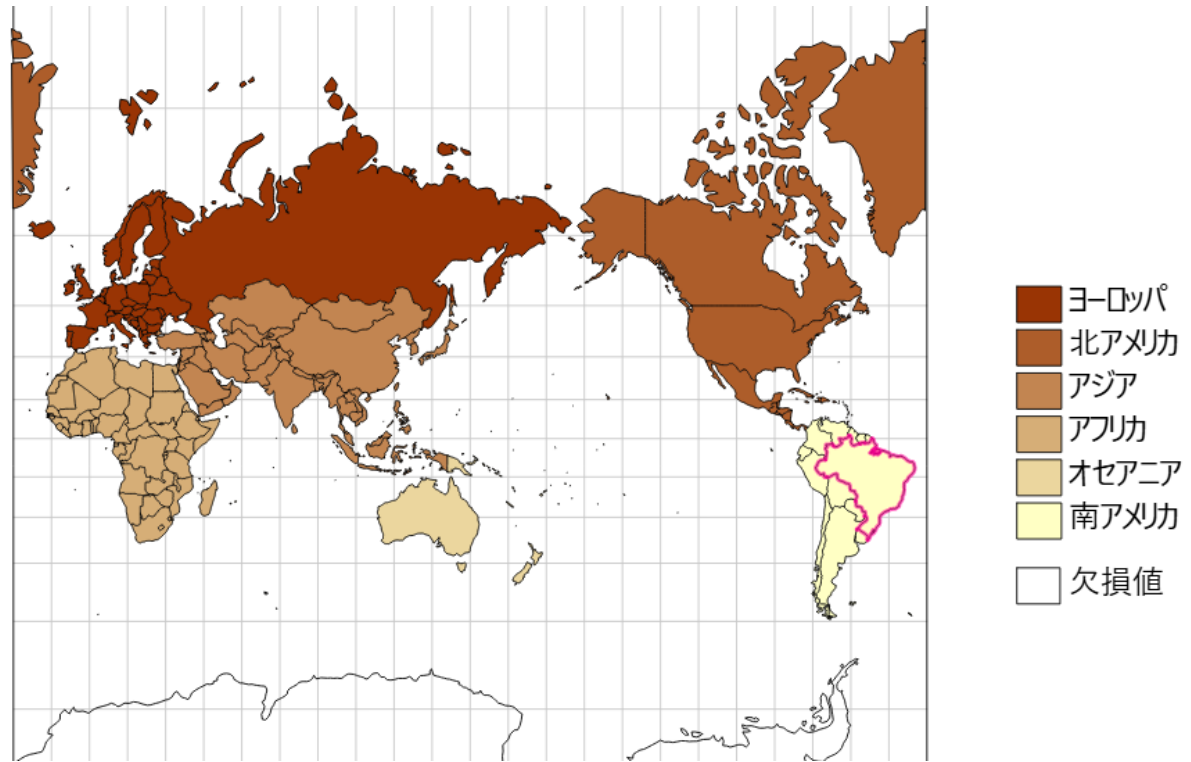
■複数表示モード

グラフ ラベル

重ね合わせセット







表示するオブジェクトグループ

☒	国(面)
☒	地域(面)
☐	湖(面)
☐	世界全体(面)

全選択 全解除

①ここまで